### 令和2年度 松江市の財務諸表(一般会計等)

**貸借対照表** 住民サービスを提供するために保有している松江市の土地、建物や現金等の財産(資産)と、その **貸借対照表** 資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを対照表示したもの

### 借方(現在有する資産)

#### 【資産の部】(将来の世代に残る財産の金額)

1 有形固定資産

(道路、公園、学校、庁舎等)

3.156億78百万円

2 無形固定資産

(ソフトウェア等)

169百万円

3 投資等

(基金、貸付金、出資金等)

192億78百万円

4 流動資産

(現金預金、財政調整基金、市税未収金等)

88億92百万円

うち、現金預金

**----> 1** 38億17百万円

#### 資産合計

3,440億17百万円

## 資金収支計算書

「一会計年度における資金の流れ」を行政 活動区分別に示したもの

## 前年度末資金残高

#### 17億02百万円

本年度資金収支額

13億23百万円

1 業務活動収支

(税収、補助金支出、職員給与等)

65億92百万円

2 投資活動収支

(公共資産整備支出、基金積立等)

△31億26百万円

3 財務活動収支

(地方債の借入、地方債の償還)

#### △21億43百万円 本年度末資金残高A

30億25百万円

前年度末歳計外現金残高

6億94百万円

本年度歳計外現金増減額 98百万円

本年度歲計外現金残高B

7億92百万円

本年度末現金預金残高(A+B)

----→ ① 38億17百万円

#### 貸方(資産の調達財源)

#### 【負債の部】(将来の世代が負担する金額)

1 固定負債

(地方債や将来の職員の退職金等)

1.094億23百万円

2 流動負債

(地方債翌年度償還額、賞与引当金等)

129億92百万円

負債合計 1.224億15百万円

【純資産の部】(これまでの世代が負担した金額)

2,216億02百万円 (2)<-

自倩·純資産合計

3,440億17百万円

## 純資産変動計算書

貸借対照表の「純資産の変動内容」を示し **ナ**-‡の

## 前年度末純資産残高

純資産合計

2,209億44百万円

当期変動額

6億58百万円

純行政コスト(▲)

△1,075億31百万円 (3)<

1 財源

(市税、地方交付税、国県補助金等)

1,082億21百万円

2 その他

(資産評価差額、無償所管換等)

△32百万円

## 期末純資産残高

2.216億02百万円 ②

## 行政コスト計算書

1年間の「行政サービスのためのコスト」を 示したもの

### 【経常費用】A

1,116億04百万円

業務費用

(人件費、物件費、その他の業務費用)

451億40百万円

2 移転費用

(補助金等、社会保障給付、他会計繰出等)

664億64百万円

## 【経常収益】B

40億47百万円 使用料及び手数料 21億67百万円 2 その他 18億80百万円

## 純経常行政コストC(A-B) 1,075億57百万円

臨時損失D 6億73百万円

臨時利益E

6億99百万円

純行政コスト(C+D-E) ---> 3 1,075億31百万円

## 【4表の相互関係】

- (1) 「現金預金」が貸借対照表と 資金収支計算書で一致
- | ② 「期末純資産残高」が純資産変動 計算書と貸借対照表で一致
- ③「純行政コスト」が行政コスト
- <u>計算書と純資産変動計算書で一致</u>

# 松江市の財政分析

## 市民1人当たりの資産、負債、行政サービスの提供状況

(令和3年3月31日現在の住民基本台帳人口199.889人に基づき算出)

●資産 172万1千円 ●負債 61万2千円 ●行政サービスの提供 53万8千円

#### 道路や公園などの社会資本の形成に対る世代間の負担率

●将来の世代の負担率 20. 44%

●公共施設等の資産老朽化率 62.10%

## 基礎的財政収支(プライマリーバランス)は自らの財源で運営できているか

●29億56百万円の黒字

#### 基礎的財政収支(プライマリーバランス)に関する情報

業務活動収支 65億92百万円 支払利息支出 5億83百万円 投資活動収支 △31億26百万円 基金積立収支 △10億93百万円 基礎的財政収支 29億56百万円

## ※一般会計等の内訳

#### 【一般会計等】

- 一般会計
- 公園墓地事業特別会計
- 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計